

愛媛県では、令和元年9月に、えひめ性暴力被害者支援センターの愛称「ひめここ（媛CC）」とロゴマーク（表紙の画像）を決定しました。

愛称「ひめここ（媛CC）」は、「この場所で」「心（こころ）から」性暴力被害者に寄り添う機関であることを周知するため、覚えやすく親しみやすいネーミングをしたもので、愛媛クライシス・インターベンション・センター（愛媛Crisis Intervention Center）の「Crisis」と「Center」の頭文字を並べて略称としたものでもあります。

ロゴマークは「ハートでつながる安心感」を表現したもので、手を繋ぎ、ハートを形づくることによって、関係機関等が、手を取り合って協力していく姿勢、親身になって相談に応じる安心感を伝えたいと考えています。

また、色については、「ピンク」は温かく相談者を守るというセンターの姿勢を、「オレンジ」は相談者が一歩でも前を向けるよう連携機関の支援を、「ブルー」は相談者の心が水面（みなも）のように平穏になることを祈るみんなの気持ちを表しています。【表紙左上】

愛媛県では、平成29年1月、知事が愛媛県版イクボスである『ひめボス（愛媛の活性化を願い、愛媛で働く人を応援する上司のこと。）』宣言を行ったことを機に、県内全体への波及を図るためのシンボルマーク「眼鏡のマーク」を制定しました。このマークは、「Work」「Life」「Social」を表す3色で構成され、円は調和を表します。

『ひめボス』は、心の眼鏡を掛けて（意識を変革して）、新しい社会を見据えています。【表紙右下】